

JASMA 会報

2010年7月発行（季刊） 社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

第41回通常総会開催	1
第41回通常総会後懇親パーティー開催	1
国際アパレルマシンショー (JIAM2012 OSAKA) について	2
2010日本ホビーショーへの出展	3
第31回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始	4
お知らせ	4

第41回通常総会開催（平成22年6月14日(月)、14:30～、日本工業倶楽部）

当工業会の第41回通常総会が開催され、ご来賓として経済産業省産業機械課課長補佐 木下利明殿等にご臨席いただき、すべての議案が原案どおり承認されました。

議題1. 会員の異動について

平成21年度は正会員3社、賛助会員1社が退会しました。
 (参考) 平成22年3月31日現在の会員
 正会員：37社 賛助会員：6社1団体 合計44社団体

議題2.～議題7. 平成21年度事業報告・決算報告、平成22年度事業計画・収支予算、JIAM2012、当面のスケジュールは原案どおり承認。

※通常総会を一時中断して第127回理事会が開催され、平成22年度収支予算の変更及び役員報酬規程について他が承認されました。

第41回通常総会後懇親パーティー開催（平成22年6月14日(月)、17:00～、日本工業倶楽部）

当工業会の第41回通常総会後の懇親パーティーが開催され、総勢70名の関係者が出席し、盛大に執り行われました。当工業会の安井会長より挨拶があり、概要は次のとおりです。

- ①本日、開催した通常総会及び理事会ですべての議題が審議され承認された。当工業会の更なる発展に努めてまいりたい。
- ②主力の中国及びアジア市場が昨年の秋以降急速に回復しており、特に中国国内の縫製企業がそれまで控えていた設備投資を再開し、工業用ミシンの需要に拍車がかかっており、一部では生産が間に合わない状況も出ている。引き続きこの傾向が続くことを期待している。
- ③海外でも人気が高い日本

の文化産業（デザイン、コンテンツ、ファッション、食文化、観光等）を輸出産業にしていくことが重要で、今後は官民連携により海外進出の促進・発信が図られることを期待する。



④2012年秋、「繊維の街・大阪」で開催するJIAM2012は、「新生JIAM」として縫製及び縫製関連機器の新製品の展示とともに、繊維素材などのコラボレーション展示、関連他業界との融合、連携等による相乗効果を図り、「新生JIAM」が繊維・ファッション産業の新たなプラットフォームとなり、世界中から多くの来場者呼び込む魅力ある国際見本市になるようにしていきたい。

ご来賓として出席された経済産業省製造産業局産業機械課長 米村 猛殿から挨拶があり、概要は次のとおりです。

- ①官民連携により日本の文化産業を育成していくことが重要である。縫製機械は布地を使って無形から有形のものを創り出す正に文化を創り出す機械である。工業会が行っているホームソーイング小・中・高校生作品コンクールは、文化だけでなく人を創っていく重要な事業で、今後とも尽力いただきたい。
- ②今後の産業・企業の方向性をしっかり見極めて進んでいただきたい。高付加価値の機能面か、あるいは

低価格帯のボリュームゾーンを追求していくのか明確にし、国際的に競争力のある産業・企業であり続けてほしい。

- ③産業の空洞化を防止するために、我が国の中でモノづくりがし易い環境を整備することが大事で、国内に製造業が残れるような国であり続けるために、政府としても的確な産業政策を行っていただきたい。

その後、当工業会の中村副会長の乾杯発声の後、和やかな雰囲気ですべての乾杯が行われ、中締めを廣瀬副会長が行い、盛況のうちに終了しました。



米村 産業機械課長



中村 副会長



廣瀬 副会長

国際アパレルマシンショー (JIAM2012 OSAKA) について

国際アパレルマシンショー (JIAM2012 OSAKA) について次のとおりお知らせします。

名 称：国際アパレルマシンショー
(JIAM2012 OSAKA)

テ ー マ：クリエイティブ・リンケージ
～革新技術で人を豊かに快適に～

会 期：2012年(平成24年)9月19日(水)～22日(土)
4日間

開場時間：10：00～17：00 (最終日は16：00まで)

会 場：インテックス大阪

主 催：社団法人日本縫製機械工業会 (JASMA)

展示規模：1,300小間 (約25,000㎡：目標)

来場登録者数：35,000人 (目標)

出展対象品目：①企画・設計・CAD ②裁断・延反・CAM ③縫製 ④刺繍・プリント
⑤仕上・検査・試験 ⑥織り・編み
⑦染色 ⑧織物・繊維・布地 ⑨アクセサリー・副資材 ⑩生活雑貨・付属品
⑪産業繊維資材 ⑫ディストリビューション・ロジスティクス (物流)
⑬ IT (情報技術) ⑭環境 ⑮情報サービス ⑯設備・装置・その他

併催事業：国際シンポジウム、セミナーなど

去る7月27日(火) 16：00より、輸出繊維会館(大阪)におきましてJIAM2012記者懇談会が開催されました。当日は報道関係者等20名、当工業会からは美馬JIAM2012実行委員長(工業会副会長)、廣瀬副会長、榎本専務理事他が出席し、JIAM2012の概要等の紹介をし、その後質疑応答が行われ懇談しました。



JIAM2012記者懇談会

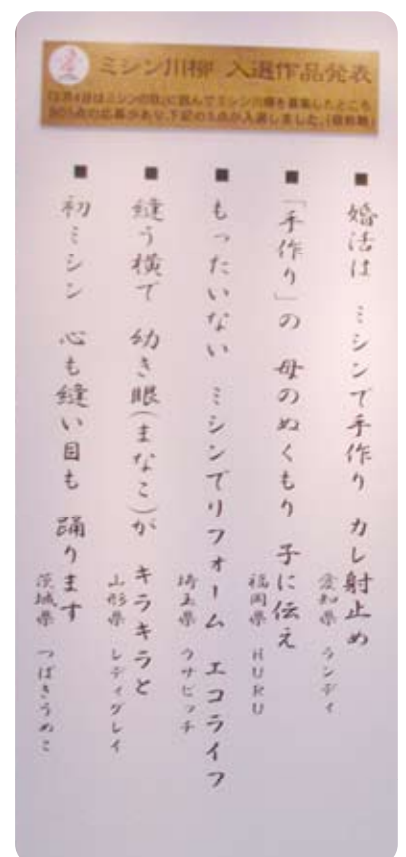
2010日本ホビーショーへの出展

ホームソーイングの普及促進を図り、最新型家庭用ミシンに親しむことができる場を提供するため、平成22年5月6日(木)から8日(土)まで東京国際展示場(東京ビッグサイト)で開催された2010日本ホビーショー(日本ホビー協会主催)へ出展しました。

同ショーは日本最大のクラフトフェアとして毎年5月に開催され、今回は116,606人のホビー愛好家が来場しました。当工業会も毎年出展し、今回は第30回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの優秀作品(26点)及び第30回記念特別部門賞パネル(10点)、

更にミシンの日川柳入選作品パネルを展示しました。

また、体験コーナーでは、家庭用ミシン5社によるシャツ型ティッシュボックスカバー及び巾着トートバッグのソーイングコーナーを実施し、3日間で70名以上が参加し、足踏みミシンコーナーでは3日間で100名近くが体験しました。そのほか、JASMAブースでは終日、ミシンの日ロゴ入り風船を無料で配布するなど、子どもからお年寄りまで幅広い年代の方々に楽しんでいただきました。



第31回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始

全国の小・中・高校生を対象とした「第31回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の作品募集が始まりました。今回は新たに「リメイク・デコ作品部門」を設けて作品を募集しています。

1 応募部門

- (1) 小学生の部 (5・6年生)
作品の種類による部門は設けません。
(小物・インテリア作品、衣服作品、リメイク・デコ作品全てを含みます。)
- (2) 中学生の部
 - ①小物・インテリア作品部門
 - ②衣服作品部門
 - ③リメイク・デコ作品部門
- (3) 高校生の部
 - ①小物・インテリア作品部門
 - ②衣服作品部門
 - ③リメイク・デコ作品部門

2 応募作品

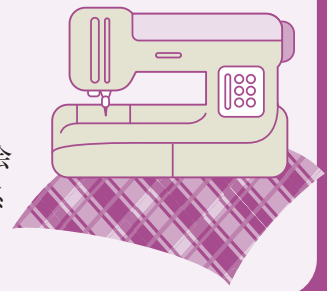
- 作品は、ミシンを使用して製作したもので、自作で未発表のものとしします。
- 1. の応募部門「リメイク・デコ作品部門」は、既製品又は自作の物を利用してリメイクやデコレーションした作品としします。

3 締切

平成22年11月10日(水)
(当日消印有効)

4 応募先・問合せ先

社団法人日本縫製機械工業会
「第31回作品コンクール」係
TEL. 03-3597-0470



お知らせ

●経済産業省 製造産業局 産業機械課の異動

当業界の関係者の異動は次のとおりです。(敬称略)

(新)

(旧)

6月16日付	金澤 信	製造産業局 産業機械課 課長補佐 (ミシン等担当)	資源エネルギー庁 資源・燃料部石炭課 課長補佐(国際協力担当)
〃	木下 利明	製造産業局 車両課 課長補佐	製造産業局 産業機械課 課長補佐 (ミシン等担当)
〃	石川 邦彦	製造産業局 産業機械課 部品・一般産業機械一係長 (ミシン等担当)	貿易経済協力局 貿易振興課 対内アクセス係長
〃	伊藤 桂	商務情報政策局 商務課 市場監視官	製造産業局 産業機械課 調整専門職 (ミシン等担当)

編集後記

今年の夏も暑い日が続いております。テレビ・ラジオでは“熱中症”のニュースが流れていました。会員の皆様におかれましては、この暑い季節を乗り切るため健康管理には十分お気をつけ下さい。

さて、今月号は第41回通常総会を中心に特集を組みました。その議題の中にあるJIAM2012が大阪で2012年9月19日(水)～22日(土)に開催されます。懇親パーティーで安井会長がご挨拶で述べておりましたとおり、「新生JIAM」として世界中から、より多くの方にご来場して頂ける国際見本市になるよう会報でPRしていきたいと考えております。

(K. M.)

JASMA 会報

Vol.7 No.2 2010年7月29日発行

社団法人日本縫製機械工業会

発行責任者：榎本 陸

〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-12
TEL. 03-3597-0470 FAX. 03-3597-0477

URL <http://www.jasma.or.jp>

Eメール info@jasma.or.jp

本JASMA会報は、発行後、当工業会ホームページに掲載しております。